



# Notion、日本語ベータ版をリリース

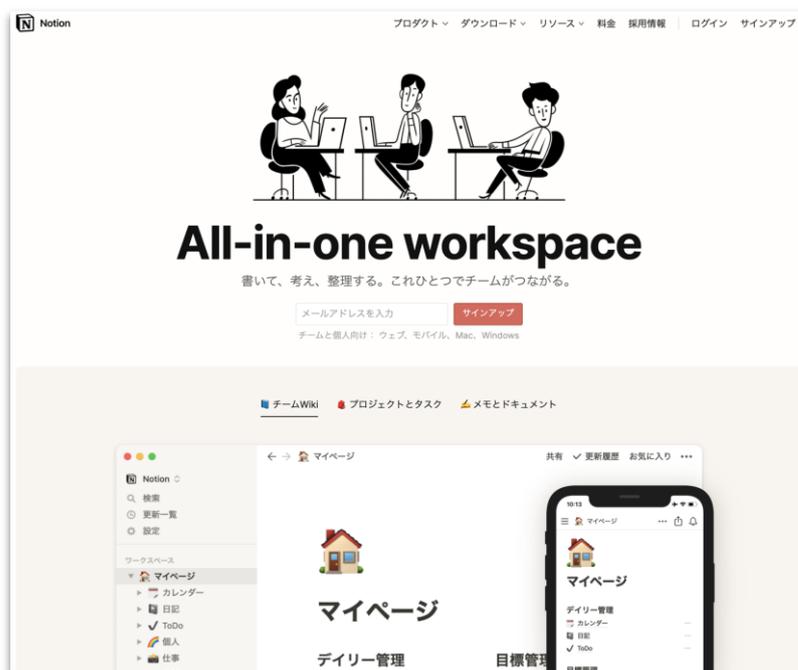
## 日本企業のビジネス成長を支援する土台を構築

～グローバルな成長と日本語化をコミュニティ主導で実現～

<https://www.notion.so/ja-jp/>

コラボレーションソフトウェアを提供するNotion Labs Inc.（本社：米国サンフランシスコ、CEO・共同創業者：アイバン・ザオ（Ivan Zhao、以下アイバン）、共同創業者：サイモン・ラスト（Simon Last、以下サイモン））は、2021年10月13日（水）より**Notion日本語ベータ版**のリリースを発表いたします。このリリースにより、日本国内のユーザーが、Notionをより身近に利用できるようになります。

Notionは、メモ、ドキュメント、プロジェクト管理、wikiをカスタマイズ可能な形で組み合わせたオールインワンのワークスペースです。「Making software toolmaking ubiquitous.」誰もが思い描いたソフトウェアを自由自在に組み立てることができれば、世界はより多くを実現できる。私たちのミッションは、そんな世界をユビキタスな現実にする事です。日本語ベータ版をリリースし、今後も日本のユーザー様のサポートを強化していきます。



### 【Notion日本語ベータ版画面】

#### 【日本語化される機能】

- ・ Notion ホームページ
- ・ Notion ブラウザ利用
- ・ Notion デスクトップアプリ
- ・ Notion モバイルアプリ
- ・ ヘルプページ・ガイド・テンプレート
- ・ 日本語によるカスタマーサポート

デスクトップおよびモバイルアプリの日本語化は今後数週間のうちに順次展開予定

昨年より日本のゼネラルマネージャーに西勝清（にしかつきよ）を据え、活動的かつ知性溢れるチームで、日本のユーザーのサポートを行って来ました。日本のデイリーアクティブユーザー数は、2021年8月には前年同月比で約4倍に増加し、SOMPO Light Vortex様、ラクスル様、スマートニュース様や1,000社以上のスタートアップにご利用頂いております。

Notionの現在のユーザーの約80%が米国外で、グローバルでも日本同様にデイリーアクティブユーザーは約4倍（2020年8月～2021年8月）に成長しています。Notionが世界中でより活用されるためには、各地域のコミュニティと二人三脚で活動を行っていくことが重要だと考えています。現在日本には、6つの地域コミュニティがあり、1,200名以上が参加しています。また、Notionについて豊富な知識を持ち、Notionを日本国内で広める活動をしてくださるNotionアンバサダーも8名います。

## Notionが日本に参入する理由

Notionは、今年初めに欧州・中東・アフリカ地域を統括するEMEA本部をダブリンに開設し、フランス、ドイツをはじめとする欧州全域で急速な成長を遂げています。また、韓国でも現地社員を増員することで、韓国国内の企業の導入を推進する計画など、Notionではグローバルでローカライゼーションを推進しています。その中でも、日本は特にエンタープライズ向けの需要が高い重要な市場で、以前から多くのユーザーにご利用頂いていたため、日本語版のリリースは急務と考えておりました。

また、共同経営者のアイバンとサイモンは、Notionの開発途中、京都に移り住み、職人の細部へのこだわりや日本のホスピタリティに感銘を受けました。今でもNotionの製品・サービスには京都から受けたインスピレーションがたくさん生かされています。そのため、日本はNotionは創業者のアイバンとサイモンにとって重要な場所となっています。

## Notionの強み

Notionは、チームのワークフローに併せて最適な形に組みかえられるので企業がより協力的で透明性の高い組織となる手助けとなります。多様な働き方への対応が課題となっている中、Notionはすべての情報や知識を一箇所に集約することで、より効果的なチーム連携を可能にします。

DXは日本だけの課題ではありません。世界中の企業が、新しい働き方への対応を迫られています。Notionは、「ユーザーがソフトウェアに合わせるのではなく、ソフトウェアがユーザーに合わせる」という考えに基づいて開発されており、ナレッジワーカーがツールに求めるものが変わってきています。



## ユーザー企業からのコメント

### ラクスル株式会社 執行役員CIO 渡邊 恭平 氏

「パフォーマンスとデザインに優れ、自由自在にカスタマイズできるNotionを使うことでドキュメンテーションのハードルが下がり、ナレッジの蓄積と共有が強化できました。社内での情報共有が進んだことで、開発スピードが向上したと実感しています。」

### SOMPO Light Vortex株式会社 執行役員エグゼクティブVP 上原 高志 氏

「情報の起点をNotionに集約させたことで、情報を探す際の初動がシンプルになり、スムーズに欲しい情報を探せるようになりました。チャットなど他ツールと連携させたことで、情報の二度入力の手間が削減されたり、非同期で各自のペースでの情報アップデートが楽になり、チームの作業効率化にも繋がっています。チーム全員が常に同じ情報を共有しているという安心感・一体感を感じています。会議も、情報共有の時間が要らなくなったので、議論を中心に短時間で済むようになりました。」

## Notion CEO Ivan Zhao（アイバン・ザオ）のコメント



「米国外のユーザーが多いため、より多くの国と地域、言語に活動の場を広げていきたいと考えています。このDXとハイブリッドワークの時代において、様々な企業から、チームを繋ぎ、より迅速なコラボレーションを実現するために、多くのお問い合わせを頂いております。Notionをローカライズすることで、多くの方々や企業にNotionを活用していただき、成功に繋げていただけたと思っています。」

## Notion ゼネラルマネージャー 日本担当 西勝清のコメント

「日本は、Notionにとって重要な国です。世界を俯瞰してみても日本のユーザーはアクティブで、現在はスタートアップだけではなく、大企業でもご活用頂き、働き方の変化に貢献しています。変化を続ける世界において、Notionが新しい働き方やコラボレーションのために活用されていることは非常に嬉しく、勇気を貰っています。今回の日本語版のリリースを通じて、より多くの方々が我々のプラットフォームの力を感じていただければ幸いです。」



Notionの日本語版とその他沢山のリソースやガイドは私たちの[日本語版ウェブサイト](#)をご覧ください。

### 【Notionについて】

Notionは、アイバン・ザオ（Ivan Zhao）とサイモン・ラスト（Simon Last）によって設立され、2021年には評価額100億ドルに達しました。Notionは、メモ、ドキュメント、プロジェクト管理、wikiをカスタマイズ可能な形で組み合わせたオールインワンのワークスペースです。世界中の何万ものチームや企業が、コラボレーション、情報収集、そしてより多くのことを成し遂げるために活用しています。Making software toolmaking ubiquitous. 誰もが思い描いたソフトウェアを自由自在に組み立てることができれば、世界はより多くを実現できる。私たちのミッションは、そんな世界をユビキタスな現実にすることです。Notionの投資家には、Index Ventures、Naval Ravikant（AngelListの創設者）、Josh Kopelman（First Round Capital）、Sequoia Capital Operations LLCやCoatue Management LLCなどがいます。